



カツラマルカイガラムシ の付いた苗木を林地へ 植栽しないように

カツラマルカイガラムシとは

マルカイガラムシ科に属する小さなカイガラムシ（直径2 mm以下）です。近年、山梨県内で大発生し、大きな問題となりました。

生活史

年2回発生します。1回目は6月中旬～7月中旬、2回目は、8月下旬～9月上旬です。母虫のカイガラから出てきた1齢幼虫は足があり、動き回りますが、直ぐに定着し、2齢幼虫（殻あり）を経て親虫（3齢）となります。



カツラマルカイガラムシが一面に寄生した樹幹

寄主植物

寄主範囲が広く、バラ科、リョウブを除く多くの樹木が被害を受けます。

山梨県では、ナラ類、クリ、カエデ類、シデ類、カンバ類、ハンノキ類、エノキ、アオハダ、アワブキ、エゴノキ、ヤマナラシ等で特に被害が激しくなります。

被害地としては、里山林、クリ園、公園、庭などが挙げられます。

被害の見分け方

肉眼的な被害は葉のしおれから始まり、やがて木全体が、枝枯れ～半枯れ状態となります。激しい被害を受けた木は、枯死することもあります。近づくると直径2mm以下の灰色で、殻の頂きが白色の円形のカツラマルカイガラムシが、葉脈から樹幹まで、樹皮の薄い木には樹幹下部まで一面に寄生しています。

果樹に付くナシマルカイガラムシとの見分けは肉眼的には困難ですが、ナシマルカイガラムシは、主にバラ科の樹木（ナシ、ウメ、スモモ、モモ、リンゴ等）に寄生するのに対し、カツラマルカイガラムシは、ブナ科（ミズナラ、コナラ、クリ等）を中心に寄生します。



被害の始まり（葉が萎凋し、褐変）

山梨県内の被害状況

本害虫は、1999年～2008年にかけて、**峡北、峡東、東部**地域で大発生し、合計1,500haにおよぶ大被害となりました。被害はコナラを中心とした2次林やクリ園で特に激しく確認されました。しかし、その後、被害は減少し、2009年、2010年には被害は確認されておらず、県内の被害は終息したと考えています。



被害遠景：広い部分が褐変している



クリ園におけるカツラマルカイガラムシの被害



天敵微生物の発生（オレンジ色のキノコ）



被害から回復しつつあるコナラ

対 策

クリ園

クリはカツラマルカイガラムシの被害を受けやすく、放置すると大被害となります。被害が発生し始めたクリ園では、右記の農薬が効果があります。

休眠期（冬期）：トモノール 14倍希釈
 発生初期：スプラサイド乳剤40 2千倍希釈
 （収穫前日まで、年2回まで撒布可）
 アプロード水和剤 千倍希釈
 （収穫7日前まで、年2回まで撒布可）

庭木、公園木

多種類の広葉樹がカツラマルカイガラムシの被害に遭います。右記の農薬が散布可能です。

スプラサイド乳剤40 千倍希釈（年2回）

山林

山林では薬剤散布も困難な場合が多く、現在までのところ速効的な対策はありません。しかし、今までの調査で以下の様なことが分かっています。

同虫による被害はある程度拡大すると、寄生菌（ネクトリアコッコフィラ）や寄生蜂により被害が終息に向かうことがわかりました。被害による枯死木は激害林では全体の40%に及ぶこともありますが、枯れるのは被圧木や幼齢木が中心で、多くの優勢木は枝枯れ程度で生き残り、萌芽により回復します。このため森林は比較的早く回復することがわかりました。

現在までのところ標高1100m以上では大被害は発生しておらず、高標高では被害が発生しにくいことがわかっています。



カツラマルカイガラムシ(拡大)



クリ苗木に付着したカツラマルカイガラムシ

被害の再発生を防止するために

カツラマルカイガラムシの分散は、歩行、風、寄生苗木の移動、の3つの方法で行われると考えています。歩行移動による距離はわずかですが、風による分散ではかなり広範囲に及ぶと思われます。また、寄生苗木の移動は、大変な長距離移動も可能で、全く被害のなかったところに突然持ち込まれることになります。

苗木の流通段階で、山梨県内に、県外の苗木業者からカツラマルカイガラムシの寄生した苗木が持ち込まれて、植栽されていることも判明しました。今後、このような苗木の持ち込みが、山梨県内にカツラマルカイガラムシの再被害をもたらす可能性があります。

苗木を購入する業者に冬季にカイガラムシの消毒を行っているか良く確かめ、苗木にカツラマルカイガラムシが寄生していないかも良くチェックしてから、植栽を行うようにする必要があります。クリ苗でもカツラマルカイガラムシが寄生したものが持ち込まれ、クリ園や山林に植栽される可能性があるため、クリ苗についても同様のチェックが必要です。

監修：山梨県森林総合研究所
森林研究部
主幹研究員 大澤正嗣

編集 普及指導部
TEL 0556(22)8001
FAX 0556(22)8002